

# ふれあいケア

3

Mar.2020

特集

## 人材育成につながる 実習生の受け入れ

ふれあい訪問

特別養護老人ホーム

レジデンシャル百合ヶ丘





## 自由で楽しい暮らしに向けた リスペクトケアの実践

社会福祉法人 育明会  
特別養護老人ホーム

レジデンシャル百合ヶ丘

利用者さんから

ひとこと

宮澤 弘さん



さまざまな仕事にチャレンジしてきたなか、健康機器のトップセールスマンだった時にがんが見つかりました。今は在宅酸素療法を行いながら楽しく暮らしています。文庫でゆっくり本を読んだり、カフェのマスターと政治談議をしたり……。施設主催ののど自慢大会では、平成30年度のチャンピオンになりました。居室や屋上で声を張り上げて練習するのは体にいいし、何より気持ちがいいです。「おかげさま」「ありがとう」の言葉を大切にしたいですね。



▲夕方のコンサートに向けて替えをした利用者に「とてもすてきですね」と声をかける職員



▲月2回程度開催される訪問美容で髪をカット。なじみの美容師が居室まで迎えに来てくれます。催し物の前には予約がいっぱいです



▲“マルシェ”のカフェで、マスター（写真左から二人め）を囲んで歓談する利用者たち。壁には書道の師範でもあるマスターが指導した、「書の会」の作品も展示されています



▲ケアアイド全体のとりまとめ役も担うアイド統括（写真左）が、中国から来た若いインターン生に、配膳についていぬいに指導します



▲食事を待つ利用者が、多様なバックグラウンドがある職員たちの真摯な対応を笑顔で見守っています

「拘束につながることは絶対しない」という信念のもと、認知症の方には安全を保つ工夫を施しつつ、玄関やエレベーター等どこにも施錠はせず、「行きたい所に行ける自由な暮らし」を展開しています。「利用者や家族はもちろん、すべての人がお互いの尊厳を尊重する、リスペクトケア」をめざしています」と、高橋統括施設長は力強く語りました。

川崎市の閑静な住宅街に建つ特別養護老人ホームレジデンスシャル百合ヶ丘。玄関を入ると、ガラス張りの明るい交流スペースが広がります。庭からは心地よい日が差し込み、いつでも飲み物を注文できるカフェ、漫画や占いの本も並ぶ文庫、職員の子どもなどが過ごすキッズスペースが配置されています。ここは地域の人びとにも開かれた「マルシェ」と呼ばれる、心躍る場なのです。

「今日は一段とおしゃれですね」常駐でカフェのマスターを務める職員の言葉に、訪問美容で髪をカットしたばかりだという利用者の顔がほころびます。マスターは利用者の愚痴や相談事、喜びの優れた傾聴者。利用者はもちろん地域の住民にも、常連客が大勢います。

施設が開所した平成29年当時は、「建設にあたり住民の理解が得られなかったため、地域にとって不可欠な拠点のような存在にしたい」と試行錯誤を重ねてきました」と統括施設長の高橋好美さんは振り返ります。オープン4日後の「子どもの日」には、住民を招いて「キッ



▲職員や地域の子どもも、施設で安全に過ごします。さまざまな大人たちとのふれあいは、育ちにプラス効果をもたらします



▲▼コーラスグループSOMETHINGが来訪。美しい歌声が広がります。「野ばら」「赤とんぼ」「どこかで春が」など、ディナーショーの趣きです



▲玄関扉に「自動」とあるのはダミーで、上部をプッシュすることで開閉を可能にするシステム。重度の認知症の方には操作が困難なので、安全が確保されます。ここにも尊厳を守るためのさりげない工夫がみられます



▲高橋統括施設長は、看護師として、利用者の体調管理も行います。次々にアルコールのオーダーが入るなか、利用者の体調に合わせて量を変えたり、ノンアルコールビールに替えたりと工夫を凝らします



▶職員たちは居酒屋のウェーターに変身。料理のおいしさもアビールして雰囲気盛り上げます



社会福祉法人 育明会  
特別養護老人ホーム  
レジデンシャル百合ヶ丘



〒215-0012 神奈川県川崎市麻生区東百合ヶ丘 1-12-35  
TEL 044-455-7150  
入居定員/ユニット型50名、従来型44名。その他実施事業/短期入所生活介護10名。



### 統括施設長 インタビュー

高橋 好美さん

「ケアの質を担保するには、喜びや楽しみ、生きがいも提供することが必要だ」と、ずっと言い続けてきました。高齢者は知患者ですから、中途半端な提供では見透かされてしまいます。人権を侵害する拘束はいっさい行っていないので、拘束が何を意味するのかわからない職員もいるくらいです。要は、誰に対しても常に敬意をもって接することが大切ですね。きちんとした言葉づかひやマナーは、相手はもちろん自分を守ることもつながります。介護職員はもちろん、ケアエイドさんやアルバイトさんも、誇りをもって働いてくださっていますよ。



ケアワーカー  
(介護職員)  
西山 奈智子さん

子どもが大きくなり手に職をつけたいと考えていた時、タイミング良くケアエイドに応募し、採用されました。初任者研修を修了してケアエイドからケアワーカーになった後、最近リーダーの業務を任されるようになり、職員の声を拾いつつ施設全体を眺めよう意識するようになりました。目下、介護福祉士資格取得をめざして勉強中です。利用者さんからはさまざまな要望がありますが、性格や行動パターンにより優先順位を考えて実現していくのは楽しいです。

### 職員 インタビュー

ケアエイド

中里 蘭さん



施設開所時から勤務していた近所の友人から話を聞き、無資格・未経験で、間接的なケアをするケアエイドとして働き始めました。キッチン担当でしたが、次第に介護業務に興味を湧き、希望して浴室誘導も行っています。業務時間は原則、11時から3時間。小学生の子どもが下校する前に帰宅できるし、学校が休みでも施設に連れてきて安全に遊ばせることができます。家庭では家事をしても「ありがとう」と言われなくても、ここでは感謝の言葉をいただけて感激しています。